

## 平成 19 年度第 8 回理事会抄録

日時：平成 20 年 3 月 15 日（土） 13：30～17：35

場所：日本作業療法士協会事務所 10 階会議室

出席：杉原（会長）、山根（副会長）、荻原（事務局長）、富岡、古川、長尾（監事）、岩瀬、太田、香山、糊澤、小林（正）、鶴見、早川（常務理事）、大熊、大丸、片岡、小林（毅）、坂井、澤田、日垣、三澤、山本（理事）、石塚（部長）、土井、光田（代理）、望月、奈良（進）（委員長）、大瀧（士会連絡協議会長）

### I. 審議事項

1. WFOT 世界会議の開催候補地について（荻原事務局長）東京フォーラム、パシフィコ横浜、幕張メッセの 3 会場のプレゼンテーションをもとに審議されたが、結論を出すには至らず、理事と招致委員会で 3 会場を視察し、その結果の資料を 6 月理事会までに提案する。

→ 継続審議

2. 平成 20 年度の活動計画と予算案について（石塚財務部長）収入は入会金収入の人数 4700 人を 4275 人とし、5 億 3778 万 5000 円。支出は各部・委員会の予算の他に WFOT 国際会議の積立金 1500 万を含め収入と同額。これに対し①広報部、機関誌編集委員会の印刷物の予算を別項目に置き換える②保険部の書籍を事務局で管理する。

→ 承認

3. 新設された部・委員会の分掌事項の修正案について（光田規約委員長代理）前回理事会での指摘を受け、修正案を提出する。→ 承認

4. 「作業療法ガイドライン実践指針（案）」について（小林（正）学術部担当理事）指針（案）を回覧。5 月に全会員に配布。→ 承認

5. 平成 20 年度協会表彰（追加）について（荻原事務局長）6 回理事会での承認後、高知県士会より 1 名の追加推薦がされる。→ 承認

6. 平成 20 年度認定作業療法士審査結果について（望月認定作業療法士審査等委員長）2 月 16 日に第 3 回委員会を開催し、11 名の更新申請者の審査を行った。→ 承認

7. 合同研修会の企画（案）について（大熊士会組織担当理事）内容を「新作業療法 5 ヶ年戦略」（仮称）に絞り、士会との連携をとり進めたい。①合宿型も考えられる②文部科学省の講演は「親の会」のほうがよい等の意見が出されたが、開催日程を 7 月 26・27 日とする。→ 承認

8. 福祉機器コンテスト共催に係る日本リハビリテーション工学協会への回答について（荻原事務局長）協会に依頼のあった福祉機器コンテストの共催について「事業計画及び予算が決定済みのため困難、昨年同様後援としたい」旨の回答をする。→ 承認

9. 医療心理師法に係る協会意見の提出について（香山精神問題担当理事）医療心理師国家資格制度推進協議会からのアンケート依頼に

対しては、全理事に資料をメールで配信した上で意見を集約し、協会意見として取りまとめる。→**継続審議**

**10.USBフラッシュメモリの貸与・管理等について（荻原事務局長）**  
協会活動に伴うデータの使用・保存に関し、個人情報の管理の観点からメモリを貸与・管理することになり、事務局が一括購入、各部・委員会の責任者が申請、決済の上貸与することとした。→**承認**

#### 11.その他

1) **国際部への対応について（小林国際部担当理事）** 国際部から求められた「『国際的視野』の方向性について」は、三役会で検討して返事をする事となる。→**承認**

2) **（荻原事務局長）** 精従懇の幹事に榎澤理事、新年度からの精従懇の参加者に香山理事、小林理事、坂井理事を推薦する。→**承認**

**（荻原事務局長）** 厚生労働省「精神保健医療福祉のあり方等に関する検討会」の当協会からの代表として山根副会長を推薦する。→**承認**

#### II 報告事項

1.**第 43 回作業療法士国家試験問題について（岩瀬養成教育部担当理事）** 3月13日に意見書を厚生労働省に提出した。

2.**平成 19 年度 WFOT 認定該当校について（岩瀬養成教育部担当理事）** 3月13日に該当校一覧表を厚労省に提出した。

3.**平成 20 年度診療報酬改定に関する協会の対応（要望）と改定結果の概要に関する報告（山本保険部担当理事）** 改定の概要は疾患別リハ料 6%ダウン、脳血管 I、II の格差是正、呼吸リハへの作業療法士配置等。

**（榎澤保険部担当理事）** 今回「精神科作業療法の専用施設外での実施と算定」が明文化され、退院支援に向け、動き始められる。

4.**平成 20 年度日本作業療法士協会機能評価実施要領について（土井企画調整委員長）** 理事会で審議された実施要領がまとまった。

#### 5.渉外活動報告

**（三澤保健福祉部担当理事）** 発達障害者教育情報センターが立ち上がった。厚生労働省も発達障害情報センターを設置する。

**（香山精神問題担当理事）** 障害者自立支援調査研究プロジェクト事業の報告会に出席。好評を得て、次年度の申請も要請された。

6.**地域保険推進事業の研究報告（杉原会長）** 日本理学療法士協会との合同研究の報告書。長年続けている事業で、成果は上がっている。

7.**地域包括支援センター意見交換会について（片岡保健福祉部担当理事）** 厚生労働省担当官 3 名出席しての意見交換会の報告。

#### 8.その他

1) **（荻原事務局長）** 厚生労働省医政局の定期的立入検査が 3 月 12 日に実施された。

2) (小林国際部担当理事) 韓国作業療法士協会との意見交換が終了した。

3) (杉原会長) ①厚生科学研究で ICF-CY (children and youth) の翻訳に関わっている②全国老人保健施設協会のサービスの標準化の研究に関与。

4) (鶴見精神障害問題担当理事) ①保護監察官の資格に作業療法士が明記される②PFI事業の島根に4月から作業療法士が常勤で入る③日本地域司法精神保健福祉研究大会が3月1・2日に行われた。

5) (太田保健福祉部担当理事) 2月24日3協会合同主催の地域リハケア・フォーラムが開催された。

以上